

# 市立旭川病院「中期経営計画」Vol.2 【概要版】

## 1 中期経営計画（平成23年度～平成27年度）策定の目的

- (1) 病院の役割と使命を認識し、経営の方向性と取組とを明確にする。
- (2) 経営の指針として、経営目標と経営収支見通しを明らかにする。
- (3) 前中期経営計画（平成18年度～平成22年度）の期間満了による継続
- (4) 公立病院改革ガイドラインによる改革プランの継続

## 2 計画期間 平成23年度から平成27年度の5年間

## 3 市立旭川病院の役割と医療の提供

医療提供

地域の医療機関との連携の中で、高度・特殊・先進医療を担い、旭川市のほか上川中部、さらに道北一円から患者を受け入れています。今後も高度医療に重点かつ積極的に取り組み、自治体病院として地域医療の発展に努めます。

特にがん、心疾患、消化器疾患に対する高度医療、移植医療、糖尿病への専門的治療などを重点に、また感染症や小児医療、精神科医療など政策的にも必要とされる医療にも取り組みます。

「北海道医療計画」における  
市立旭川病院の役割  
がん、急性心筋梗塞、糖尿病  
～地域の中核病院  
(地域がん診療連携拠点病院)  
救急～救急告示病院(第2次救急医療機関)  
小児医療～拠点となる重点化病院  
精神科医療～救急医療体制整備事業指定  
医療機関  
感染症～第二種感染症指定医療機関

広域化等

「自治体病院等広域化・連携構想」(平成20年1月北海道策定)の中では、旭川市及び幌加内町を含む1市9町の区域において、旭川市には市立旭川病院を始め、旭川医大病院など高度な機能を有する病院が集中しているが、市立旭川病院は、その区域の中核病院として、引き続き一定の機能の維持が必要とされています。

経営手法

平成21年4月に、地方公営企業法の全部適用へ移行し、病院事業管理者を設置しました。公共の福祉の増進を図りながら、自主性と経済性を高める経営手法であるが、今後も社会経済情勢に的確に対応できるよう、地方独立行政法人化などの手法も含め検討を進めます。

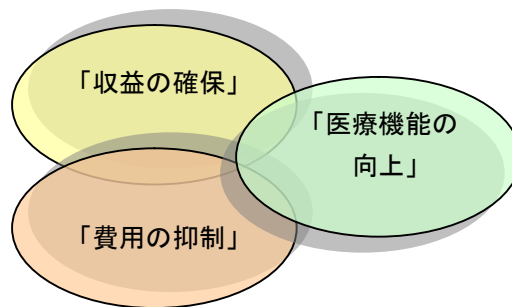
## 4 経営の効率化 ～経営改善のための重点的取組～

今後の病院経営においては、機能の向上による収益の増と費用の抑制が重要と考えています。

計画期間における経営改善のための重点的取組について、「収益の確保」「費用の抑制」「医療機能の向上」を課題とし、次のとおり一体的に取組を推進してまいります。

### 経営改善のための重点的取組

- ・医師等の確保
- ・病診連携の強化
- ・人件費、材料費の管理抑制
- ・診療の効率化と経費の縮減



- ・高度医療の推進
- ・急性期病院としての機能充実
- ・職員の教育と資質向上
- ・医療情報システムの機能向上
- ・環境(施設設備)改善とサービスの向上

## 5 経営目標と経営指標

- (1) 患者の確保と病床利用率の向上を図る。
- (2) 計画期間内に、経常収支と純損益の黒字転換を図る。
- (3) 資金収支の均衡を維持し、資金収支累計額の充実を図る。

計画の推進状況を評価するために、6つの「経営指標」に、平成27年度の到達目標を設定し、経営収支の推移とともに、経営管理を行ないます。

|                    |                 |   |                 |
|--------------------|-----------------|---|-----------------|
| ・経常収支比率            | H22年度 93.0%     | ⇒ | H27年度 100%      |
| ・資金収支累計額           | H22年度 2,624百万円  | ⇒ | H27年度 3,890百万円  |
| ・病床利用率             | H22年度 73.7%     | ⇒ | H27年度 82.6%     |
| ・医業収益対人件費比率        | H22年度 50.2%     | ⇒ | H27年度 47%以下     |
| ・医業収益対材料費比率        | H22年度 31.7%     | ⇒ | H27年度 30%以下     |
| ・企業債（起債）残高         | H22年度 15,988百万円 | ⇒ | H27年度 11,700百万円 |
| ※病床利用率は感染症病床を除いた数値 |                 |   |                 |
| ※H22年度の数値は決算見込     |                 |   |                 |

## 6 経営収支見通し（平成23年度～平成27年度）

経営の効率化に取り組み、病院事業会計の収支の改善に努めます。

| (税抜)              |          | (単位:百万円) |          |          |          |          |
|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 年度(平成)            |          | 23年度     | 24年度     | 25年度     | 26年度     | 27年度     |
| 収益的<br>収支<br>(損益) | 医業収益     | 11,112   | 11,109   | 11,508   | 11,540   | 11,559   |
|                   | 医業外収益    | 880      | 866      | 851      | 836      | 819      |
|                   | 収益 合計    | 11,992   | 11,975   | 12,359   | 12,376   | 12,378   |
|                   | 医業費用     | 11,909   | 11,761   | 11,626   | 11,941   | 11,787   |
|                   | 医業外費用    | 655      | 633      | 611      | 590      | 560      |
|                   | 特別損失等    | 11       | 10       | 10       | 10       | 9        |
|                   | 費用 合計    | 12,575   | 12,404   | 12,247   | 12,541   | 12,356   |
|                   | 経常収支(損益) | △ 572    | △ 419    | 122      | △ 155    | 31       |
|                   | 純損益      | △ 583    | △ 429    | 112      | △ 165    | 22       |
| △累積欠損金            |          | △ 11,490 | △ 11,919 | △ 11,807 | △ 11,972 | △ 11,950 |
| (税込)              |          |          |          |          |          |          |
| 資本的<br>収支         | 企業債      | 140      | 160      | 160      | 140      | 140      |
|                   | 出資金・負担金等 | 628      | 688      | 707      | 729      | 730      |
|                   | 収入 合計    | 768      | 848      | 867      | 869      | 870      |
|                   | 建設改良費    | 250      | 270      | 270      | 270      | 250      |
|                   | 企業債償還金等  | 891      | 1,002    | 1,032    | 1,048    | 1,063    |
|                   | 支出 合計    | 1,141    | 1,272    | 1,302    | 1,318    | 1,313    |
|                   | 収入－支出    | △ 373    | △ 424    | △ 435    | △ 449    | △ 443    |
| 資金<br>収支          | 当年度資金収支  | 167      | 6        | 498      | 206      | 389      |
|                   | 資金収支累計額  | 2,791    | 2,797    | 3,295    | 3,501    | 3,890    |

収支の見通しとしては、収益的収支（損益）で、平成25年度と平成27年度に純利益を生じることになります。資金収支では、各年度とも剰余を生じることとなり、資金収支累計額（資金残高）も充実する見通しとなります。